

第3学年 外国語科 学習指導案

熊本市立天明中学校 教諭 八郷 正一

1. 単元名 Let's Read 3 Changing the World (『Here We Go! English Course 3』光村図書)

2. 単元の目標

- ・スピーチから話し手の主張を読み取り、自分の考えを伝え合うことができる。
- ・関係代名詞、動詞の-ing形による後置修飾、間接疑問文、疑問詞+to+動詞の原形、If…の仮定法の構文などを理解している。また、スピーチ原稿を読んだり聞いたりして、内容を理解することができる。(知識・技能)
- ・話し手の主張を知るために、繰り返し出てくる言葉などに注意しながらスピーチ原稿を読んだり聞いたりして、要点を捉えている。また、スピーチで共感できる部分と共感できない部分について、話し手の考えと自分の考えを整理しながら、自分の考えを伝えたり相手に質問したりしている。(思考・判断・表現)
- ・話し手の主張を知るために、繰り返し出てくる言葉などに注意しながらスピーチ原稿を読んだり聞いたりして、要点を捉えようとしている。また、共感できる部分と共感できない部分について、話し手の考えと自分の考えを整理しながら、積極的に自分の考えを伝えたり相手に質問したりしようとしている。(主体的に学習に取り組む態度)

3. 単元について

(1) 教材観

この単元は、1992年ブラジルのリオデジャネイロで地球環境サミットが開かれた時のセヴァン・スズキ(当時12歳)のスピーチで構成されている。彼女のスピーチは核国代表の心をとらえ、大変話題になった。この約30年前の出来事は今でも「伝説のスピーチ」として語り継がれている。

本単元を通して、スピーチの内容、文章の構成はもとより、SDGsの達成に向けて自分たちが今までやってきたこと、これから続けていくことをESDの視点をもとに考えを深めるのに適していると考えられる。

取り扱う言語材料としては関係代名詞、動詞の-ing形による後置修飾、間接疑問文、疑問詞+to+動詞の原形、If…の仮定法の構文などがある。

(2) 生徒観

本クラスの生徒は、中学校生活を通して1年時より自分たちが住んでいる地域の環境保全活動・ボランティア活動を継続的に経験している。英語でのアウトプットには自信がない生徒が少なくないことから、スモールステップの支援が求められる。

(3) 指導観

指導にあたっては、単元のゴールの姿を共有し、よりよい形で意見発表および意見交換ができるよう、段階的なディスカッション活動や、自分の考えをより多くアウトプットする活動を帯活動や主活動に組み込んでいき、自信をもって行えるようにしたい。その中で生徒それぞれの意識の変革により、より高い次元での思考・判断ができるように支援したい。

(4) ESDとの関連

本単元で扱うスピーチは、国連の地球環境サミットにおけるものであり、ESDとの関連は大きい。環境問題のみならず、SDGsと通じる内容も複数ある。

- 本学習で働かせるE S Dの視点（見方・考え方）
 - 相互性（関わりあっている）
 - 連携性（力合わせて）
 - 責任性（責任を持って）
- 本学習で育てたいE S Dの資質・能力
 - 批判的に考える力（現状に目を向け、正しいと思っていることが他に悪影響を及ぼしていないか）
 - 多面的・総合的に考える力（住んでいる地域や国の違い、立場の違いをもとに）
 - コミュニケーションを行う力（他者との対話、先人の記事を見る、自分の意見のアウトプット）
- 本学習で変容を促すE S Dの価値観
 - 皆の同意が得られるか
 - 実現可能な行動か（時間、財政）
 - 全員の幸せが保障できる行動か
- 達成が期待されるSDG s
 - 10 人や国の不平等をなくそう
 - 13 気候変動に具体的な対策を

4. 単元の評価規準

ア 知識・技能	イ 思考・判断・表現	ウ 主体的に学習に取り組む態度
<p>①関係代名詞，動詞の-ing形による後置修飾，間接疑問文，疑問詞+to+動詞の原形，if...の仮定法の構文などを正確に理解している。</p> <p>②スピーチ原稿を読んで，内容を理解している。</p>	<p>①話し手の主張を知るために，繰り返し出てくる言葉などに注意しながらスピーチ原稿を読んで，要点を捉えている。</p> <p>②スピーチで共感できる部分と共感できない部分について，話し手の考えと自分の考えを整理しながら，自分の考えを伝えたり相手に質問したりしている。</p>	<p>①話し手の主張を知るために，繰り返し出てくる言葉などに注意しながらスピーチ原稿を読んで，要点を捉えようとしている。</p> <p>②共感できる部分と共感できない部分について，話し手の考えと自分の考えを整理しながら，積極的に自分の考えを伝えたり相手に質問したりしようとしている。</p>

5. 単元の指導計画（全4時間）

次	主な学習活動	学習への支援（・） 生徒の反応（□）	評価（△） 備考（・）
1	<p>○スピーチ原稿を通して読んでおおよその内容をつかんだ後，地球環境の危機についてセヴァンさんが訴えていることを理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・帯活動 ワードカウンター ・Before You Read いくつかのキーワードから，スピーチの話題や内容を推測する。 ・スピーチを通して聞き，イメージをつかむ。 ・スピーチ原稿を通して読み，おおよその内容をつかむ。 ・p.98 から p.99 の1. 4 までを読み，内容の詳細を確かめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分ごとになるような支援として、近年起こった自然災害の話からスタートする。 ・これまで行ったボランティア活動をトピックに設定する。 □伝えるのに必要な語彙を獲得しようとする ・概要をつかませる中でキーワードになるものを取り上げ、理解を促す。 □言いたいことは大体わかったが、その理由についてはあまり理解できない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワードカウンター
2	<p>○人類は1つの家族であり，分かち合うことが大切だというセヴァンさんの主張を理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・帯活動 ワードカウンター ・p.99 の1. 5 から p.100 の1. 8 までを読み，内容の詳細を確かめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・スピーチの趣旨を確認し、どのような文章構成になっているかを考えさせる。 ・部分に分けながら内容理解を進める。 □言いたいことが理由を含めて理解できている。 	<ul style="list-style-type: none"> △ア1 △イ1 △ウ1
3	<p>○大人の言行不一致を非難し，行動を起こすよう訴えているセヴァンさんの主張を理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・帯活動 ワードカウンター ・p.100 の1. 9 から最後までを読み，内容の詳細を確かめる。 ・大切だと思う箇所について理由とともに伝え合う。(ディスカッション) 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分自身の行動を振り返らせ、自分にできることにつなげさせる。 ・セヴァン・スズキさんの思いが乗ったフレーズや文章をとらえさせる。 □人の気持ちを推し量って英文にするのは難しいと感じている。 	<ul style="list-style-type: none"> △ア2
4	<p>○セヴァンさんがいちばん伝えたかったことを考え，スピーチに対する自分の考えを伝え合う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・相手に気持ちが伝わるような発表になるよう、観点を整理し、活動につなげる。 	<ul style="list-style-type: none"> △イ2 △ウ2

	<ul style="list-style-type: none"> ・帯活動 ワードカウンター ・After You Read スピーチを読み直し，セヴァンさんがいちばん伝えたかったことは何かを考え，吹き出しの英文を完成させる。 ・グループになり，スピーチに共感できる部分と共感できない部分について話し合う。(ディスカッション) ・自分が” Changing the World” という題名でスピーチするとしたら，どんなことを話すかを考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・特に強調して読むための方法を共有する。 □強調の方法がわかっている。 ・意見を伝え合わせ、必ず感想を伝えるようにさせる。 □感想に理由や具体例を即興で入れるのは難しいが、相手の気持ちにこたえるため何とか伝えようとしている。 	
--	---	---	--